



1977年05月23日

「ヤナセゴルフ・ディーゼルを発売」

ヤナセでは、このほど52年度排出ガス規制をクリアーした対策第1号車、フォルクスワーゲンゴルフD (ディーゼル) を7月中旬より同社の全国ネットワークを通じ発売を開始する。ゴルフDは、仕様装備においてガソリン・エンジン車のゴルフEと同等のもので、価格は7万円高の174万8千円 (東京地区店頭渡現金価格) である。輸入販売するモデルはゴルフD (4ドア・マニュアルトランスミッション) 1モデルのみで、77年モデルの販売予定台数は500台である。ゴルフDの発売により、ゴルフ・シリーズは3モデル、フォルクスワーゲンでは8モデルのラインアップとなった。

ディーゼル・エンジンは本来、排出ガスがガソリン・エンジンに較べ清浄であること。低燃費、燃料の低価格 (軽油を使用) に加え維持費の経済性が大きな魅力として近時、小型クラスにおいても強い関心が持たれるようになり、小型量販車として初めてフォルクスワーゲンゴルフディーゼルが発売された。

従来、ディーゼル車は同クラス排気量のガソリンに比べて出力、特に加速力の点での差が目立ったが、ゴルフでは最大出力50bhpとゴルフ1.1lガソリン車と同じ、最高巡行速度140km/h、加速性能も0-80km/hが21.2秒、0-100km/hが23.2秒とガソリン車に対して遜色ない数値を示している。

ディーゼル・エンジンにおける問題点は、高負荷・高圧力に耐える必要から、頑丈な部品が必要となるが、1.5lガソリン・エンジン部品との共用が数多く、エンジン横置きによるスペースの節約を行うと共に、第二の問題点、振動騒音についてもスワール・チャンパー (過流室式)、ツースト・ベルトの採用で解決している。

回転が上るエンジンにもかかわらず、燃費は非常に低く、特に市街地短距離走行の場合ガソリン・エンジンに比べ、少くとも28%の燃料節約ができる。燃費は定地横行80km/hで22.2km/l、100km/hで17.9km/lがメーカー発表の数字である。

諸元は次の通り。

フォルクスワーゲン ゴルフDの諸元

全長・全巾・全高	3725×1610×1410mm
ホイールベース	2400kg
車両重量	830kg
エンジン型式	OHC過流式横置き4気筒
総排気量	1470cc
圧縮比	23:1

最大出力 50bhp/5000rpm

最大トルク 8.4kgm/3000rpm

最高速度 140km/h

登板能力 0.33

資料提供:株式会社ヤナセ